第14回 東奥少年少女文芸大会

短歌

本記1

小学校

発に乗っ雪　日舎館と　佐藤　杏南

かけぶとん厚手の毛布使うとき冬のはじまり感じて寝入る　田子・清水頭6　星　聖称

約束だ入院しているじいちゃんと雪がとけたらつりに行くんだ　黒石・追子野木5　木村　士湧

ストーブの上で焼いてる干し芋の甘いにおいが私をさそう　野辺地6　熊谷　咲良

制服のサイズ合わせを見る祖父がめじりをさげてぼくを見上げる　東北・蛯沢6　野田頭竜雅

【評】〔天位〕自分自身の感覚でとらえた表現。詩的感性がすばらしい。〔地位〕いじめのない理想の教室。胸を張って言った下句が心に響きます。〔人位〕何よりもありがたい誕生日プレゼントですね。とても素直に表現されています。〔総合〕先生方がご配慮されたのでしょうが、「楽しみは」「お正月」などの決まり文句で始まる作品が多くありました。このような方法は、子どもさんたちの柔らかい感性の芽を摘んでしまうことになり、作品の世界も狭めてしまいます。自由な発想や個性を引き出すご指導をお願いいたします。

高校

佐藤　羽美　選

◇天　位
もういいかい寒冷前線もういいよ合格通知と桜前線　大間3　大野　朱里

大野　朱里さん

◇地　位
三年をかけて積まれた荷を乗せて波越え届けよ次の岸辺へ　岩木3　太田まどか

◇人　位
販売機赤いランプが光るときもう少し先で冬が待ってる　大間1　木下　彩花

◇秀　逸
友達と別れ際まで笑い合うカメラロールに残る思い出　聖愛3　白取　花

透きとおる冬の空気を吸い込んで空っぽになる駅までの道　弘前中央1　山内　想

友達と放課後ココア飲んでます遠く聞こえる踏切の音　聖愛2　佐藤　萌香

発車駅雲の上から雪たちが次は終点アスファルトです　大間1　畠中　大輔

静けさと匂ひ残りし梅雨のあと路面に映るアサガオの青　七戸2　吹切　広彰

◇佳　作
青春の道を作ってきた仲間迷路をともに乗り越えていく　聖愛3　石岡　愛美

三年で縫い目ほつれたスカーフと戻らぬ日々を自覚する冬　聖愛3　三上　浩海

明日やる明日は来ない今日になる明日は明日へ逃げていくから　聖愛3　佐藤　海央

若者と否定されてた未来図を制服脱げば分かるだろうか　聖愛3　古舘　美希

やわらかく日く輝く冬の山表面おおう一つの光　聖愛3　木田さやか

寒い冬あなたを想って六年目わたしの心に「好き」の降雪　板柳3　寺山　歌楽

暖求め大福みたいにまるまるとふくれて群れる冬のすずめ　板柳3　葛西愛香里

びゅうびゅうと雪吹きつける海の町今日もじいちゃん船見に出かける　大間2　藪下星里奈

こんもりと積もった雪に足おろす一つずつ押す自然のスタンプ　大間3　中山　龍也

思い出は持ち帰らずに置いていくまた来たときに思い出すため　明の星3　小峰　璃久

春風とこぼれ落ちてく思い出を拾い集めて宝石箱へ　聖愛1　小林　鮎奈

ほほえんで重なり合った足跡はみぞれ降りし日姿消しゆく　鶴田2　佐藤あすか

夜になり空いっぱいの星たちがみんなで集まり話し始める　柴田女子1　横山千沙輝

白鳥が列を作って去っていく春のお知らせここに残して　柴田女子2　赤坂　萌子

お互いのはじける笑顔はずむ声ひかりが寄り添う十八の夏　五所農林2　岩谷　千夏

細枝が白い衣を身にまとい春はまだかとなお眠りつく　五所農林2　前田　優姫

入試まで365日だと数字が我の青春を急かす　聖愛2　松橋　那央

十七の夏いつまでも沈みけりプールの底でゆれる水紋　八戸3　小川　青夏

【評】〔天位〕心地よい韻律で、愛唱性が際立つ。時代を超えて、人々の心に残るだろう秀歌。〔地位〕優れた比喩。完成度が高く、詩歌への理解度は群を抜く。〔人位〕何気ない日常の情景から詩情を掬（すく）い上げている。第4句が光る。〔秀逸〕1・卒業を控えた叙景（せきりょう）感と友情のきらめき。下句の具体が効いている。2・身体感覚の鋭さ。過不足のない丁寧な詠（うた）いぶり。3・遠近の視点の飛躍が自然かつ巧み。4・文体が柔らかく、発想力が豊か。5・聴・嗅・視覚と展開させる力量。

ふるさと発見 新聞社の本

特選ガイド

地方にはきらりと輝く文化があります！

も、猫。ネコ。ねこ。読者から寄せられた栃木県の飼い猫写真集。1千匹を超えるにゃんこを掲載！

世界が舞台 ～活躍する山形県人～

A5判 183頁 本体1389円＋税 送料300円

山形新聞に2007年3月14日から連載している「世界が舞台」を書籍化。山形県から派遣されたJICAボランティアの世界各国での活動報告75回分を集約した。

山形新聞社

てんでんこ未来へ あの日を忘れない

岩手日報社編 A4判 208頁 本体1500円＋税 送料実費

「てんでんこ」とは、津波の際に周りにかまわず逃げろという教え。この教訓を現代にどう生かすかを東日本大震災犠牲者の行動記録とともに考えます。

岩手日報社

青森県の交通史

中園裕編 A5変型判 134頁 本体1200円＋税 送料実費

市民の足である公共交通。その歴史を貴重な写真とともに紹介。

北奥羽 里山を歩く

高橋実著 A4変型判 184頁 本体1800円＋税 送料実費

身近な自然は宝物。多様な命を育む空間を案内、里山の大切さを説く。

東北新聞社

もりのやきゅうちーむふぁいたーずつよさのひみつ

作／北海道日本ハムファイターズ選手会 絵／堀川真 A4変型判 32頁 本体1296円＋税 送料別

ファイターズの選手たちのアイデアによる人気絵本の第2弾。野球を通じて子どもの成長に大切なことを伝えま

北海道新聞社